

日本災害看護学会先遣隊 令和6年能登半島地震活動報告

2024年2月1日(木)

活動隊員：寺田英子、紫宇代、酒井彰久、佐々木久美子

1. 活動日時

2024年2月1日(木)0時～24時

2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校(石川県珠洲市大谷町1字78番地)

避難所使用者数 50人(一時避難者あり) 27世帯(18時の時点)

3. 石川県の被害状況(2月1日14:00現在 石川県 被害等の状況について)

人的被害 死者:240人 負傷者:1,419人

住家被害 全壊・半壊・一部損壊:47,904棟

4. 天候

曇り 最高気温 9℃ 最低気温 -3℃

5. 活動の実際

7:00 起床 ホットタオル配布・健康観察

8:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

9:00 朝食・配膳・下膳

10:30 体育館の換気・マスク交換、避難所使用エリアの大掃除(住民とともに)
(トイレ・フロア・玄関・整理整頓)

11:00 トイレ用ゴミ袋作成、ラジオ体操

12:00 昼食(配膳、下膳)

13:00 佐々木、酒井隊到着、引継ぎ

13:10 下肢の洗浄

14:30 2次避難説明会

15:30 ラジオ体操、換気

16:10 黙とう

17:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

18:00 夕食(配膳、下膳)

19:00 大谷小中学校本部関係者 meeting(本部長含む)

20:00 健康観察、記録

21:00 消灯、適宜対応

6. 考察

2次避難について、避難場所や移動方法、避難場所での生活等について説明会があった。2次避難を行う前に、一度道の駅すずなりに集合しメディカルチェックを受けてから長距離移動となる予定である。避難にあたり、日常生活の状況や内服薬、食事制限などを記入する健康確認表を記載する必要があり、健康チェックを行う際に記載内容で不明な点がないかサポートを行った。避難先では畳の部屋となるため、段ボールベッドは持ち込めるかといった質問があり、説明に来た担当者が丁寧に回答されていた。そのほか、バス酔いや車いす利用者がバスに乗れるのかといった不安の声もあり、避難所でのバス乗車では安全

に移乗できるようにサポートを行っていく。感染症の発生により2次避難が延期されていた方もおり、避難について待ち望んでいるようであった。現時点で大きな健康問題は生じていない。

小学校が再開しており、現在避難に利用している教室を徐々に空けていく予定である。明日の2次避難により体育館に空きスペースができるため、避難所のレイアウトの再考やサロンやキッズスペースなどを避難所リーダーと話し合い検討する。

本日で発災から1か月を迎え、発災時刻の16時10分に黙とうをおこなった。避難所リーダーからは、「1か月たったけど家のこと、家族のこと、先のことを考えると暗くなる。目の前のことを必死にやることで忘れるじゃないけど、少しは気がまぎれる。」という話を伺った。住民のために真摯に避難所運営に取り組む姿の裏には、先の見通しが立たない辛さが隠れており、避難所運営にあたる地元の支援者のサポートの重要性を改めて感じた。